

チームケア時代を拓く看護マネジメント力UPマガジン

## ナーシングビジネス増刊

ポストコロナで看護管理の質が試される

事例に学ぶ収益性の高い病棟づくり(仮)

編著者: 宇都由美子 鹿児島大学病院医療情報部 部長

### 目次

- 1章 ポストコロナの病院の課題——危機対応後、補助金体質の組織をどう元に戻すか 宇都由美子 鹿児島大学病院医療情報部 部長
- 2章 座談会:病院経営の現状と試される看護管理の質  
【参加者】  
宇都由美子(鹿児島大学病院医療情報部 部長)  
岡田みずほ(岩手県立大学看護学部 教授)  
藤井晃子(名古屋大学医学部附属病院 看護部長)
- 3章 収益性向上の2つの方法①コスト削減 宇都由美子 鹿児島大学病院医療情報部 部長  
・コスト削減には良いコストダウンと悪いコストダウンがある  
・悪いコストダウンとは——近視眼的な取り組みはケアの質を下げ、モチベーションダウンにつながる
- 4章 収益性向上の2つの方法②生産性アップ 未定  
・事例① ケアの質の向上を収益につなげる  
・事例② 地域貢献が収益性を向上させる  
・事例③ 記録の質を高め、収益性も高める  
・事例④ 待機患者の確保  
・事例⑤ 適切なベッドコントロール

### 読者ターゲット

病院の看護管理者(看護師長、看護副部長、看護部長)、教育担当者

### 本書の概要

コロナ禍による受診控えは多くの病院の経営を悪化させ、コロナ関連補助金によりかろうじて黒字という医療機関も少なくありません。コロナ患者を受け入れた病院は、コロナ患者への対応に人数をかけざるを得ず、その分、一般病棟は手薄になり病床稼働率も下がっています。このような状況で、コロナ患者が減り、補助金制度が打ち切りになってから稼働率をもとに戻すのは、待機患者の確保もできておらず簡単なことではありません。地域住民からの信頼を取り戻す、後方病院との連携の再構築、スタッフの看護技術の水準をコロナ以前に戻すなど、本書は、さまざまな課題があるなか、病棟の収益性を向上させるノウハウを実践事例から学べる一冊です。

### 広告締切

申込締切日: 2022.8.31

版下出版社必着: 4C 2022.8.31

1C 2022.9.13

### 広告料

(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4	カラー	1頁	300,000	205×172 【断ち切り】
表2	カラー	1頁	280,000	257×182 【断ち切り】
表3	カラー	1頁	250,000	257×182 【断ち切り】
後付	カラー	1頁	180,000	257×182 【断ち切り】
後付	1色	1頁	120,000	257×182 【断ち切り】
後付	1色	1/2頁	60,000	105×150

### 取扱い広告代理店

● 広告原稿は完全データをお願いします。広告原稿は完全データをお願いします。 ※ 広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。

● 入稿の際は、**広告データ、出力見本(確認用PDF)**をご準備ください。

● 広告掲載スペースには、**断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。**

広告に関するお問い合わせは、上記の取り扱い代理店、もしくは(株)メディカ出版 総広告代理店(株)メディカ・アド

TEL:03-5776-1853までお願いいたします。

◇この内容は、弊社ホームページ内の「掲載可能な専門誌一覧(<https://www.medica.co.jp/ad/>)」からダウンロードできます。